

科目名 (実)	ネイル技術実習Ⅱ (ミクスメディア)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小峰
学科・コース	トータルビューティー科 ネイルコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	曜日・時間 火曜日 3,4時
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、見習有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートを描得する サロンワークに必要なスピーディーな技術を修得する サロンワークで実践できる技術、知識、サロンマナー、ホスピタリティを身に付ける 就職に向けてサロンワークのルーティン修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ミクスメディアアート(コンセプト)を通じて様々なアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのメンテナンスとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
接客用語、ジェルの説明を習得する お客様に提供できるアートが作成できる サロンワークに必要なスピーディーな技術を修得する ジェルアートは再現性高く繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる コンテスト制作を通して、様々なデザインの模範から独自のデザインを生み出すことができる ジェルネイル上級検定試験を通して ジェルチップアート・パレイルデザインの手順を覚え、実施することができる アライナーを駆使し、規定の形に形成することができる フライングを少なくできるようなアライナーが使える							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
【使用教科書・教材・参考書】 1) N Aテクニカルシステムジェルネイル 2) N Aテクニカルシステムジェルネイル							
回	授業概要						テスト配点
1	トール1 ジェルアート ストローク練習 エンスタロークフワー 目標：ジェルアートのストロークを模範によって修得し、操作することができる						小テスト2点
2	トール2 ジェルアート ストローク練習 グラデーションフワー 目標：ジェルアートのストロークを模範によって修得し、操作することができる						小テスト2点
3	イラスト(鉛筆でデザイン) 目・眉・唇の輪郭の練習 目標：イラストではパンスの取り方を覚え実践できる デザインは繊細かつ大膽に構成する						小テスト2点
4	トール3 エンスタロークフワー グラデーションフワー 目標：ジェルアートのストロークを模範によって修得し、操作することができる						
5	サロンワーク実習 1.ジェルアート(模範)について 2.衛生管理チェック表 3.接客&大用指 4.接客用語 5.カルテ&同意書 6.ジェルネイルを安全に楽しむために 7.口述確認 8.売上表 1. 2 ジェルアート① 目標：サロンワーク相モデル練習(実習)までに接客用語を覚えてくる サロンワークのルーティン修得する						小テスト2点
6	ジェルアート② ペーパー ワンカラー ラメグラー(メタリック) (オーロラ) ストーンアート パール・フレンチ パール・フレンチ マープル① マープル② 逆フレンチ+ラマイン フレンチ+ラマイン マープル 大理石 タイダイ 縦グラデーション カラーグラデーション(ペンク・ベージュ) ホリイグラデーション(ベースカラー+ベージュ(ハイビーターマー)) ※チップが出来上がったから相モデルでオン、マシンの練習 【到達目標】 アートを繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる						小テスト2点
7	ジェルアート③ ペーパー ワンカラー ラメグラー(メタリック) (オーロラ) ストーンアート パール・フレンチ パール・フレンチ マープル① マープル② 逆フレンチ+ラマイン フレンチ+ラマイン マープル 大理石 タイダイ 縦グラデーション カラーグラデーション(ペンク・ベージュ) ホリイグラデーション(ベースカラー+ベージュ(ハイビーターマー)) ※チップが出来上がったから相モデルでオン、マシンの練習 【到達目標】 アートを繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる						
8	ジェルアート④ 検定1級① ペーパー ワンカラー ラメグラー(メタリック) (オーロラ) ストーンアート パール・フレンチ パール・フレンチ マープル① マープル② 逆フレンチ+ラマイン フレンチ+ラマイン マープル 大理石 タイダイ 縦グラデーション カラーグラデーション(ペンク・ベージュ) ホリイグラデーション(ベースカラー+ベージュ(ハイビーターマー)) ※チップが出来上がったから相モデルでオン、マシンの練習 【到達目標】 アートを繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる						
9	中間テスト ジェル検定中級						中間テスト20点
10	コンテストチップ作成① 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目つ大膽なアートを描くことができる						小テスト2点
11	コンテストチップ作成② 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目つ大膽なアートを描くことができる						小テスト2点
12	コンテストチップ作成③ 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目つ大膽なアートを描くことができる						小テスト2点
13	ジェル検定上級 練習 ジェルクリアシムルブチュア 右手薬指・中指 目標：アライナーを駆使し、規定の形に形成することができる フライングを少なくできるようなアライナーが使える						小テスト2点
14	ジェル検定上級 ビンポイント練習 ジェルチップオーバーレイ 左手薬指 ジェルチップオーバーレイ&フレンチチップ 左手薬指 ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフワー 右手薬指 ジェルクリアシムルブチュア 右手薬指・中指 目標：アライナーを駆使し、規定の形に形成することができる フライングを少なくできるようなアライナーが使える フレンチはスマイルラインを左右対称にチップが尖り、鮮明に描ける アライナーを駆使し、グラデーションフワーを奥行きが効率的に描ける						小テスト2点
15	定期試験 接客用語 ジェル上級&ポイント練習						定期テスト60点
【特記事項】				【評価について】			
■ネイリスト技能検定試験1級 試験日：4月13日(土) 10月19日(土) (Cパターン)				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
■ジェル検定上級 試験日：11月予定				●評価 A評価(90~100点) / B評価(80~89点) / C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	トレンドメイク演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	笠原・門脇
学科・コース	トータルビューティ科 メイクコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 1.2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。美容業界は流行の流れが速い為、常に最新の情報や製品などを知ることがとても重要です。</p> <p>〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。(12年)</p> <p>〈秋本〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして活動中</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>業界のトレンドを学ぶ。今までのトレンドや最新のトレンドの知識やテクニックも身に付けていく。</p> <p>トレンドのコスメ商品の体験をしたり、トレンドメイクアップの違いを理解出来る。</p> <p>授業後半には コンテストに対しての集中講座を行います。</p> <p>お客様に対してのカウンセリングの中でトレンドを入れた提案やメイクアップを知ることが出来る</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイクアップ道具一式、筆記用具				美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。 演習後は技術の復習をし、より確実に身に付ける事が望ましい。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	トレンドを知る メイクバランスを理解する (トレンドLOOK・写真の編集)					5	
2	トレンドメイクアップテクニックを学ぶ①						
3	トレンドメイクアップテクニックを学ぶ②						
4	トレンドメイクアップテクニックを学ぶ (モデル1体・写真編集)						
5	サマーコレクションをリサーチメイクデザインを考える①					5	
6	サマーコレクションをリサーチメイクデザインを考える②						
7	中間テスト サマーコレクション セルフメイク (写真編集)					20	
8	Instagramのフィードを考える① (グループ)						
9	Instagramフィード② (グループ)						
10	Instagramフィード③ (グループ)					5	
11	Instagramフィード④ (グループ)						
12	Instagramフィード⑤ (グループ)					5	
13	プレゼンテーション トrendセルフメイクを2LOOK考える①						
14	プレゼンテーション トrendセルフメイクを2LOOK考える②						
15	定期テスト プレゼンテーション					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	年代別メイクアップ&テクニック演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	関 亜沙美 深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
関亜沙美:美容室で美容師として2年間勤務後、メイクアップアーティストやビューティアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年間以上携わる。また企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターもおこない、ヘッドスパサロンでセラピストとしても20年勤務。アイブロウサロンのメイクアップ教育も務める。 深井ルミ:25年以上メイクアップの仕事に携わり、複数の美容専門学校で授業を担当。JESC検定の問題作成、テキストの監修、ヘアメイクを担当。							
目的:メイクアップに関わる者として必要である化粧品やメイクアップの起源、歴史を調べ、学び、必要なメイクアップの知識とテクニックを身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各年代の時代背景、メイクアップの流行を把握し、現場に出る前の基礎知識を身につける。また1年生で学び修得してきた基本的なパーツメイクの組み合わせを駆使し、応用させて1920年代、1950年代、1960年代、1970年代、各年代のメイクアップパターンを理解し、時代の雰囲気表現、また左右対称の仕上がりを目標に、テクニックを向上させる。また『歴史は繰り返す』を念頭に、近現代に於ける年代別の時代背景(社会の情勢)と様々な出来事、その時代に流行ったメイクアップ、風俗、ファッションやヘアスタイル、カルチャー、音楽、映画やその時代を代表する人物などを知り、各時代の雰囲気を捉えた上で、知識とメイクアップテクニックを向上させる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式 iPad 筆記用具 年代別メイク専用ファイル				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物などについてレポート提出			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップ等レクチャー 映画鑑賞&感想文					レクチャーメモ・感想文提出	
2	1920年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
3	デモストを見聞し1920年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
4	実技を通して1920年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
5	1950年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
6	デモストを見聞し1950年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
7	実技を通して1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
8	中間試験					相モデルにてフルメイク 20点	
9	1960年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
10	デモストを見聞し1960年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
11	実技を通して1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
12	1970年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。映画鑑賞&感想文					レポート・レクチャーメモ・感想文提出 2点	
13	デモストを見聞し1970年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 2点	
14	実技を通して1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
15	定期試験					相モデルにてフルメイク 60点	
【特記事項】 授業の構成上、通常は中間試験を7回目に行いますが、年代別メイクの授業では8回目に行います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	販売促進メイク演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保 清水
学科・コース	トータルビューティ科メイクコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。メイクアップに理由付けが出来るようになる。 久保/ 外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動(12年)							
【授業を通じての到達目標】							
限られた時間で、完成度の高いメイクを完成させる事が出来る様になる。自身の施したメイクのプレゼンテーションが出来る様になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	フルメイク、時間内仕上げ					5	
2	フルメイク、時間内仕上げ						
3	フルメイク、プレゼンテーション、フェイスチャート(個人)						
4	フルメイク、プレゼンテーション、フェイスチャート(個人)					5	
5	フルメイク、プレゼンテーション(グループ)						
6	コンセプトシート作成、メイク試作						
7	中間テスト フルメイク 時間内仕上げ					20	
8	デモンストレーション、模写フルメイク(時間内仕上げ)						
9	デモンストレーション、模写フルメイク(時間内仕上げ)					5	
10	デモンストレーション、模写フルメイク(時間内仕上げ)						
11	与えられたテーマに沿ってフルメイク、プレゼンテーション(学内コンテストに向けて)						
12	与えられたテーマに沿ってフルメイク、プレゼンテーション(学内コンテストに向けて)					5	
13	与えられたテーマに沿ってフルメイク、プレゼンテーション(学内コンテストに向けて)						
14	コンセプトシート作成、メイク試作						
15	定期試験(フルメイク、タイム取り)					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	ブランド別メイク理論&演習Ⅱ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	笠原・門脇
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	木曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>目的:様々な化粧品ブランドの歴史や特徴、アイテムなどについて学びそのブランドの特徴を深く知る。様々なブランドのイメージをふまえ、日常使いできるメイクデザインに落とし込む方法を学ぶ。</p> <p>概要:ブランドについての歴史、商品についての知識を解説し、ブランドの特徴を把握したうえでメイク実習を行う。ブランドが打ち出すコレクションメイクや広告メイクデザインを、日常使いできるメイクデザインへ落とし込むメイク実習を行う。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>様々なブランドの化粧品や歴史、コンセプト、商品について理解できるようになる。</p> <p>ブランドイメージに合わせたメイクアップを仕上げることができ、現場に必要なメイクアップ技術、お客様一人一人に合った提案力を身に付けることができる。ブランドのコレクションメイクや広告メイクなどの普段使いにはハードルの高いメイクデザインを、お客様が日々使えるメイクデザインに落とし込むことができるようになる。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、iPad				日々、コスメだけでなくファッションのトレンド情報も意識する。			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	4/11 この授業について 外資系ブランド Bobbi Brown の歴史や特徴を知りブランドイメージを理解する ブランドイメージメイク相モデル実習					1	
2	4/18 国産系ブランド LUNASOL の歴史や特徴を知りブランドイメージを理解する ブランドイメージメイク相モデル実習					1	
3	4/25 外資系ブランド M・A・C の歴史や特徴を知りブランドイメージを理解する ブランドイメージメイク相モデル実習					1	
4	5/9 国産系ブランド RMK の歴史や特徴を知りブランドイメージを理解する ブランドイメージメイク相モデル実習					1	
5	5/16 国産系ブランド THREE の歴史や特徴を知りブランドイメージを理解する ブランドイメージメイク相モデル実習					1	
6	5/23 ファッションブランドのビューティーラインの特徴を知る(GUCCI PRADA HERMÈS) ブランドイメージメイク相モデル実習					1	
7	5/30 中間試験 ブランドイメージのメイク実技試験					中間テスト20点	
8	6/9 落とし込みメイクについて CHANEL 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フルメイクデモ フェイスチャート作成 セルフメイク					2	
9	6/13 NARS 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フェイスチャート作成 相モデル					2	
10	6/20 MAC 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フェイスチャート作成 相モデル					2	
11	6/27 TOM FORD 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フェイスチャート作成 相モデル					2	
12	7/4 shu uemura 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フェイスチャート作成 相モデル					2	
13	7/11 THREE 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フェイスチャート作成 相モデル					2	
14	8/22 YSL 広告メイクのビューティメイクへの落とし込み フェイスチャート作成 相モデル					2	
15	8/29 定期試験 コレクションメイクの落とし込みメイク					定期試験60点	
【特記事項】ブランドの代表的なルックにあるメイクをデザインする。				<b>【評価について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	販売ロールプレイ演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿保幸菜(向後幸菜)
学科・コース	トータルビューティー科	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>(阿保) 美容部員として約6年、国内高級化粧品ブランド・都内大手百貨店で得た接客販売スキルと、美容ライターとして培ってきた業界の幅広い知見、言語表現力を生かし、現場で即戦力となる接客技術をお伝えいたします。</p> <p>目的:「ただ商品売る」「マニュアル通りに紹介する」ではない、基礎知識の引き出しをきちんと持ち合わせた上でオリジナリティのある接客を行えるような発想力と立ち居振る舞いを身に着ける。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>お客様のニーズを十分理解し、お声がけからクロージングまでお客様それぞれに合わせた接客と、商品の魅力を最大限に伝えられるような表現力を身に着け、即戦力となる販売ロールプレイができるようになる。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	〈授業の導入〉 理想とする、自分がなりたい美容部員の姿を明確にイメージする					0	
2	セールストークのポイントを理解した、お客様に合わせたお声がけ					10	
3	お客様のニーズを引き出すカウンセリング					0	
4	美しい所作でスキンケア/メイクのタッチアップ					0	
5	提案・クロージングのポイントを理解する					0	
6	プラスワン販売のポイント					0	
7	〈中間テスト・校外実習〉 化粧品カウンターでカウンセリングを受け、良い点・改善点に気づけるようになる。					20	
8	商品をより魅力的に伝えるための表現のボキャブラリーを増やす					0	
9	お客様パターン:さまざまなお客様に応じた接し方					0	
10	お客様パターン:所要時間に応じた接客					0	
11	お客様パターン:中高年層に対する接客					0	
12	次の季節の商品を販売する際のポイント					0	
13	フレグランス・ボディクリームの販売のポイント 香りを言葉で伝える					0	
14	商品のプレゼンテーション(POP UPやインスタライブなど)					10	
15	〈定期試験 60点〉 限られた時間の中でお出迎え～クロージングまでの販売ロールプレイができるようになる					60	
【特記事項】 接客の基礎を身に着ける授業となります。身だしなみにも気を付けて授業に参加してください。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	コスメティック研究演習 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高岸
学科・コース	TB科 メイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 (金) 3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約6年の美容部員経験(国内大手化粧品メーカー・百貨店勤務)を経て、美容メディアの企画・編集・執筆といった美容に関する専門知識を生かした情報発信に従事し、美容業界に18年携わってまいりました。日本化粧品検定1級。メイクアイテム・ヘアケアアイテム・フレグランスに関しての種類や基本知識、具体的な使用方法についての知識をお伝えします。 目的:お客様に対し適切な商品選択ができるために働きや効果について理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧品ブランドで取り扱う幅広い化粧品アイテムについての知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料				日々、SNSやYouTubeのインフルエンサーによる発信だけでなく、美容業界のプロ、実店舗、雑誌、インターネットなどで化粧品に触れたり、調べたりすることでさまざまなブランドや商品を知るように心がける。			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	授業内容を理解する。メイクアップベースの種類・特徴・最新トレンドを理解する。					0	
2	ファンデーションの種類・特徴・最新トレンドを理解する。					0	
3	コンシーラー・フェイスパウダーの種類・特徴・最新トレンドを理解する。					0	
4	アイブロウアイテム アイシャドウの種類・特徴・最新トレンドを理解する。					0	
5	アイライナー マスカラの種類・特徴・最新トレンドを理解する。					0	
6	コントゥアリングアイテム チーク リップアイテムの種類・特徴・最新トレンドを理解する。					0	
7	UVケア化粧品の種類・特徴・最新トレンドを理解する。					10	
8	中間試験					20	
9	2024年上半期ベストコスメを決める。 コスメの審美眼を身に付け、トレンドをつかめるようになる。					0	
10	香水の香りの変化、香水のつけ方と注意点・香りの持続時間を理解する。					0	
11	ヘアケア商品の種類、最新トレンドを理解する。					0	
12	<校外授業> 化粧品カウンターで、最新のコスメ市場をチェックしレポートできるようになる。					0	
13	最新コスメ市場の情報交換・発表					10	
14	男性の肌の特徴を理解する。男性化粧品(髭剃り関連)の種類と特徴を理解する。					0	
15	定期試験					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松原 佐藤 羽村
	学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1・2年生交流会に向けて自分たちのコースが学んできた技術・知識を整理する①						
2	1・2年生交流会に向けて自分たちのコースが学んできた技術・知識を整理する②						
3	1～2回の授業で整理した内容の中から交流会に適した題材を決める						
4	3回目の授業で決めた題材に対して、自分たちオリジナルの施術メニュー・内容を構築する①						
5	4回目の授業で決めた題材に対して、自分たちオリジナルの施術メニュー・内容を構築する②						
6	構築した施術メニュー・内容を1年生に披露する①						
7	構築した施術メニュー・内容を2年生に披露する②						
8	6～7回の授業で施術をした1年生に事後アンケートを行い自分たちの施術メニュー・内容の満足度を調査する						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A評価(90～100点) / B評価(80～89点) / C評価(70～79点) D評価(60～69点)			
				E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0～59点・不合格)			

科目名 (英)	コンテスト	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	松原 佐藤 阿部 羽村
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
顧客に対して各コースで学んだ施術を施しコンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	<p style="text-align: center;">コンセプト作成及び仕込み</p> <p>【到達目標】・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げることができる</p>						
2							
3							
4	<p style="text-align: center;">【授業単元】 コンテスト発表</p> <p>【到達目標】・コンセプトシートを基に施術を時間内で仕上げることができる</p> <p>【評価】 審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする</p>						
5							
6							
7							
8							100点
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科・全コース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 自分の将来を考え、社会人、企業人として、仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を養う。 「社会人基礎力」前に踏み出す力(①主体性 ②働きかけ力 ③実行力)、考えぬく力(④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力)を身につける。 【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として仕事をスムーズに進められる方法、社会人として対応できる知識を理解する。</li> <li>・社会人としての知識を身につけ、説明できるようになる。</li> </ul>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具、授業用ファイル(配布した使用はファイリングのうえ持参)							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【到達目標】目標を立てる(人生100年時代・自分の人生を計画する) 自分の未来について考え目標を立て、一年間の心構えを持つ。						
2	【到達目標】交流会のメニュー表を作る 1,2年生の交流会に実施する内容を決定しメニュー表を作成する						
3	【到達目標】自己PRが言えるようになる 面接時に自分の強みを知り、人に伝えられる。						4点
4	【到達目標】主体性を理解し物事に進んで取り組む力を理解する 主体性を客観的に見つめ過去の選択の振り返りをする						
5	【到達目標】主体性で見つけた自分を相手に伝えることができる 自分の想いを30秒で伝えることができ、グループワークでは相手の話を受容できる。						4点
6	【到達目標】働きかけ力を理解する 自分の意見を相手に伝えることが出来、グループワークで答えがだせる。						
7	【到達目標】中間試験 1～7週まとめを理解し説明できる。						中間テスト20点
8	【到達目標】将来の目標が言えるようになる 面接時に自分の目標を、人に伝えられる。						
9	【到達目標】ドリームMAPを作りグループで発表ができる 自分の将来やりたいこと、持ちたいもの、一枚の紙にまとめ相手に伝えることができる。						4点 (持ち物)はさみ、のり、雑誌の切り抜き
10	【到達目標】実行力を理解する 一ヶ月でチャレンジしたいことを考え実行する上での障害や対処法を考えられる。						
11	【到達目標】課題発見力を理解する 課題発見と解決に向けたプロセスを明らかにする。						4点
12	【到達目標】計画力を理解し自分の計画を立てる 計画をしたことで上手くいったことを知り、自分の計画パターンを知る。						
13	【到達目標】創造力を養い色々な発想法に触れる 連想ゲーム、クリップワーク、くっつけワークを通してアイデアをだす。						4点
14	【到達目標】社会人基礎力を理解し一番必要なものを話し合える(6種類) 職場で多様な人々と仕事をしていくための力を理解し、自分の目標とリンクすることができる。						
15	【到達目標】定期試験 定期試験の返却と解説						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名(英)	オリエンテーション導入教育Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	松原 阿部 羽村 佐藤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	オリエンテーション② クラス内役割について 就職活動について						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	販売ロールプレイ II (Sales roll play)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	毎週火曜日 3限4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>アパレル販売員として販売実務を10年以上経験し、その後接客に纏わる研修・運営・マネジメントを8年行ってきた講師からスタイリング方法やお客様対応の基礎知識や活用法を学べる。</p> <p>また、プレイヤーとして実際にロールプレイコンテスト受賞実績のある講師から接客のノウハウだけでなく、お客様のリアルな声をもとに必要な知識や心構えを得ることが出来る。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の心理を理解し、心理状況や要望に合わせた対応ができるようになる。</li> <li>販売員に求められる実務的な業務スキルを身につける。</li> </ul>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容により資料を配布</li> <li>ロールプレイング大会DVD</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>映像鑑賞</li> <li>ショッピングサーチ</li> <li>実店舗での接客体験</li> </ul>			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【色・素材】 色相環を用いてカラーが人に与える印象や素材による見え方の違いについて学び、より深い知識を身につけコーディネート提案の実践に活かす。						
2	【SSスタイリング着せ替え】 1つの主軸アイテムに対してシーズンに合わせたトータルコーデを5パターン考える。限られた時間の中で着まわし提案を素早く出来るようにする。					5	
3	【ファッション業界のスケジュール】 4シーズン以外のシーズン、それに伴う商品の入れ替えや立ち上げ・売り場展開について学ぶ。						
4	【年間計画作成】 ファッション業界の流れに沿った運営の年間計画を作成する。お客様目線とスタッフ目線の両目線での観察眼を養う。					5	
5	【似合わせとは】 ⇒「着る」と「着こなす」の違いを理解した提案を出来るようにするため、骨格や肌色などタイプ別の似合わせについて考えてみる。的を得た説得力のある提案に繋げる。						
6	【似合わせコーデ】 ⇒自身はどのようなタイプでどの様なスタイリングが似合うのか。自身について考えてみる。「好き」と「似合う」の違いとは、中間テスト準備と並行して進めていく。						
7	【中間テスト】 ⇒実技演習：似合わせスタイリングプレゼン					20	
8	【メリットピックアップ】 アイテム別にそれぞれどのようなメリットがあるかを考えてみる。デメリットをメリットに変換させる知識とトーク術を身につける。						
9	【比較検討】 ⇒類似商品を用いて、それぞれの良さについてディベートを行う。それぞれの良さについて理解を深める。「AよりBのほうがお勧め」の理由づけを出来るようになる。						
10	【電話対応・クレーム対応】 クレームとは、引き起こす原因や二次クレームを引き起こさないための初歩的初期対応について学ぶ。					5	
11	【売り場リサーチ】 セール期におけるファッション業界の売り場リサーチを行い、市場のシーズン変化を知る。						
12	【リサーチ報告/購入品紹介】 前週の売り場リサーチに関するレポート作成・報告及び直近購入品の紹介。商品の魅力が伝わるプレゼンを行う。					5	
13	【リピーターの重要性】 リピーターとは、お客様がリピーターになるきっかけや、スタッフ側に求められる行動とは何か。自らがリポートする際の理由を思い返し、お客様目線で考えてみる。						
14	【ロールプレイ総合】 お客様のテンションやペースに合わせた商品説明・傾聴・話し方・ヒアリング・提案を行う。自分主体ではない、あくまでもお客様主体の接客を出来るようにする。						
15	【定期試験】 ⇒実技試験：ロールプレイ演習＋筆記					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	self branding セルフブランディング演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	矢澤 勇
学科・コース	トータルビューティ科ファッションコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教え、またスタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントとしても活躍できる知識を得ることができる。</p> <p>キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドで働いてまた2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やGMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
セルフのトータルコーディネートにSNSの発信や企画また、ファッションアドバイザーやスタイリストとして撮影現場での動きにスタイリングスキルを身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内でデータや資料を配布 参考書							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーションと一年時の復習						
2	パーソナルコーディネート①						
3	パーソナルコーディネート②						
4	Instagramリール制作						
5	Instagramリール制作②						
6	中間テストに向けて振り返り						10点
7	中間テスト						20点
8	ストリートファッションリサーチ①						
9	ストリートファッションリサーチ②						
10	コレクションファッションスタイリング①						
11	コレクションファッションスタイリング②						
12	オリジナルデザインスタイリング①						必修
13	オリジナルスタイリング②						
14	定期試験に向けて振り返り						10点
15	定期試験						60点
【特記事項】						【評価について】	
						<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>	

科目名 (英)	ファッションIT演習Ⅱ (Fashion IT exercises)	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	TFL (Avail 山下)
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)は、2017年の設立以来ファッションとテクノロジー・CG・映像など複数領域の知見を組み合わせた教育を展開し、さらにテクノロジーの産業活用を研究するAI・バーチャルファッション・デジタルツインなどの学内の研究会で得られた新技術やノウハウを、教育カリキュラムとして人材育成に還元しています。 このTFLの教育ノウハウを活用し、今後増大するDX(デジタルトランスフォーメーション)化推進のニーズに対応した人材を育成していきます。 目的:ファッション3Dモデリングスキルを習得し、業界の川上から川下まで、様々な場面で人材ニーズの多いDX対応人材を育成する。 概要:ファッション3DCADソフト「Browzwear」を活用し、2Dパターン(型紙)データ・テクスチャ(生地表面質感/生地物性)データから、ファッションアイテムのCG作成、3DCGでのスタイリング、ECサイトのささげ代替可能な精緻なファッション3DCGを作成するスキルを習得し、学生のキャリア形成の可能性を広げ、業界の発展に寄与する。							
【授業を通じての到達目標】							
Browzwearの基本操作習得と軽衣料(SS商材)の形状仕上げ オリジナルデザインの3DCGを出力、プレゼンテーションする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	Browzwearの基本操作/Tシャツ1:ツール・マウス操作説明/アバター編集/縫い合わせ指示/3D空間での操作						
2	Tシャツ2:パターン読み込み/被服構造/パターン編集/デザイン修正/グラフィック配置/小テスト						5点
3	スカート1:スカートの展開/タイトスカート原型/フレアスカート/ギャザースカート/ゴム設定						
4	スカート2:プリーツスカート/プリーツ折り曲げ設定/パターン編集/デザイン修正/小テスト						5点
5	シャツ1:シャツ・ブラウスのパターン/芯/折り曲げ設定(衿)/前立て/カフス・剣ポロ/タック指示						
6	シャツ2:切り替え・内部線編集/ボタン設定/ファスナー設定/ステッチ指示/レンダリング手順/小テスト						5点
7	コーディネート作成/着せ付けテクニック・各種ツールの使い方/アバターポーシング						
8	中間テスト:用語と基本操作/ファッション3DCGアワード制作1:デザイン検討/生地検討						20点
9	ファッション3DCGアワード制作2:3Dモデリング個別制作/生地決め/デザイン・パターン打ち合わせ						
10	ファッション3DCGアワード制作3:3Dモデリング個別制作/パターン作成						
11	ファッション3DCGアワード制作4:3Dモデリング個別制作/生地(テクスチャ・物性)データ取得						
12	ファッション3DCGアワード制作5:3Dモデリング個別制作/中間チェック						5点
13	ファッション3DCGアワード制作6:個別制作/ブラッシュアップ						
14	ファッション3DCGアワード制作7:個別制作/ブラッシュアップ/レンダリング設定						
15	前期末試験:3DCG作品評価/ファッション3DCGアワード審査会						60点
【特記事項】				【評価について】			
前期修了時、後期修了時の年2回、外部企業(豊島株式会社)との連携により、ファッション3DCGアワード実施予定 産学案件として学生作品の商品化まで視野に入れた計画を調整中				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Fashion business ファッションビジネス II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋 直哉
	学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の第一線で活躍するための店舗運営に必要な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチなど)の理解をし、実践できるようになる ※講師:エストネーションカンパニーにて管理職(シニアマネージャー、スーパーバイザー)として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネジメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション業界の第一線で働くための、店舗運営や企業就業に必要な基本的な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチ)を理解し習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・授業毎にプリントを配布 ・販売能力検定2教科書				店舗見学、校外リサーチ実習			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	MDの基本的な業務内容の理解と、それに付随する商品企画や店舗作りの理解						
2	シーズン毎のMD計画の立て方の理解と、予算からのMD計画、商品価格設定の考え方の習得						
3	VMDの基本的な業務内容の理解と、それに付随する店舗作りや商品の見せ方の理解 商品陳列の基本(VP、IP、PP)について理解し、訴求力を高める展開方法を習得					10点	
4	シーズンMD(通年、半期、シーズン、月毎)の計画の立て方とVMDカレンダーとの連動の理解①						
5	シーズンMD(通年、半期、シーズン、月毎)の計画の立て方とVMDカレンダーとの連動の理解②						
6	シーズンMD(通年、半期、シーズン、月毎)の計画の立て方とVMDカレンダーとの連動の理解③						
7	中間テスト(MD基礎、VMD基礎)					20点	
8	マーケティングの基本知識の理解と、マーケットリサーチ内容とニーズやトレンドの調査方法についての理						
9	コレクションブランドからトレンドを読み取る (5大コレクションからファッショントレンド、マーケット調査を行い、プレゼンテーションまでの仕方を理解)						
10	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成① (グループに分かれてリサーチ店舗の決定と、リサーチ内容の話しあい)						
11	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成② (ショップリサーチを行い、実際のマーケットをリサーチ)					5点	
12	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成② (ショップリサーチを行い、実際のマーケットをリサーチ)						
13	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成③ (リサーチ内容からプレゼンテーション資料作成)					5点	
14	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成③ (リサーチ内容からプレゼンテーション資料作成)						
15	定期テスト(マーケット・リサーチのプレゼン)					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション総合演習 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	矢幅 英美
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>衣装デザイナーとしてのキャリアが20年以上となる講師が、ウェディングドレス・フォーマルウェア・各種オーダー服の企画・デザイン・制作を経て、各種ダンス衣装、舞台衣装、アーティストのライブ衣装の製作とスタイリングの他、様々なクリエイターのOEMコンサルティングをディレクション等、さらに着物の着付けの指導、スタイリング等、多岐にわたる活動の中で得た、必要な素材の知識、基本的縫製技法、シルエット構成の仕組み、バックヤード作業、撮影時に於ける調整などの技術と繊細の知識、着せつけの基本技術などを体得することにより、ファッション衣料に関わる急な対応ができるように、その基本となる作業工程を自ら組み立て考察できるようにする。素材やアイテムの違いによる補正方法の指導を通して、現場での緊急なサイズ調整方法、生地を取り扱い、応急処置の方法などを体得する。また、SDGsの取り組みの一環として、ファッション産業で私たちが出来ることを考える機会を持つことで、様々なファッション業界の社会的問題にも意識を持ち、広い見解を持つことを目的とする。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が決めたコンテストに挑戦します。</li> <li>自分の武器を身につけます。</li> <li>第三者に自分の考えを伝える能力を向上させます。</li> <li>プロの方と仕事現場に近い撮影を行います。</li> <li>ファッション業界に入った時、広い視野で案件をうける能力を身につけます</li> </ul>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad							
回	授業概要					テスト配点	
1	自己紹介、1年間の流れ説明						
2	コンテスト授業1(自分がきめたファッションのコンテストに挑戦します。そのリサーチ)						
3	コンテスト授業2(自分がきめたファッションのコンテストに挑戦します。準備、対策、コンテスト提出)						
4	カルチャー授業1(自分のバックボーンとなるカルチャーについて深堀していきます)						
5	カルチャー授業2&ZINE(自分の得意分野のカルチャーをZINE形式で作成します)						
6	ZINE 作成2(自分の説明や、営業で使えるBOOKのかわりとなる作品を作ります)						
7	ZINE発表3(作成したZINEをつかってプレゼンテーションを行います)						
8	オーダーメイド授業(おもにコスチュームを作る際の流れや実際に作る際の流れを授業でおこないます)						
9	コスチューム作成授業1(企業訪問をし、実際のコスチュームで使えるディテールを勉強しに行きます)						
10	コスチューム作成授業2(企業訪問をし、テキスタイルや素材の勉強をします)						
11	コスチューム作成授業3(企業訪問でみにつけた知識をいかし、プレゼン資料、デザイン画を作成します)						
12	コスチューム作成授業4(実際作った資料をつかってプレゼンテーション、発表)						
13	広告案件撮影授業1(広告撮影の流れを説明し、存在する企業のCMを担当するとしたときの疑似撮影準備をします)						
14	広告案件撮影授業2(実際撮影を行い、プレゼン資料をつくりプレゼンします)						
15	前期まとめ、後期授業の説明						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	検定対策Ⅱ (Official approval measure)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
販売員から販売営業マネジメントの経験を経た講師から、ファッション販売のプロとして、販売の基礎知識やマナーなどを学ぶことが出来る。ここでは、テキストに沿ってファッション業界において必要な基礎知識や検定合格に向けての知識を身につけ、合格を目指す。							
【授業を通じての到達目標】							
・ファッション販売能力検定試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
テキスト【ファッション販売】【ファッション販売能力検定試験問題集】を使用							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【ファッション販売知識Ⅰ】 ⇒ファッションとは何か、産業や小売りの流れを知り、知識を深める。						
2	【ファッション販売知識Ⅱ】 ⇒ファッションとサービスの重要性。お客様とスタッフの違い、必要不可欠なものとは何かを知る。						5
3	【ファッション・マーケティング知識Ⅰ】 ⇒マーケティング・リテールについて学び、理解を深める。						
4	【ファッション・マーケティング知識Ⅱ】 ⇒売り場での情報収集や、ファッション小売業の年間計画についての知識を深める。						5
5	【ファッション販売業務Ⅰ】 ⇒販売スタッフの仕事についての基礎知識を学ぶ。						
6	【ファッション販売業務Ⅱ】 ⇒販売スタッフの事務、商品管理についての基礎知識を身につける。						
7	【中間テスト】 ⇒試験内容：検定内容に基づいた筆記試験。						20
8	【ファッション技術Ⅰ】 ⇒販売スタッフの基本マナー、サービスについてを学び、お客様の購買心理についての理解を深める。						
9	【ファッション技術Ⅱ】 ⇒接客の基本動作とセールステクニックの基礎に基づいたお客様への接し方を学ぶ。						
10	【店舗演出・VP展開】 ⇒売り場の環境づくりや演出、陳列について学ぶ。						5
11	【店舗演出・VP展開】 ⇒マネキンの着せ方・見せ方のポイントを知る。ラッピングの基礎知識を身につける。						
12	【ファッション商品知識Ⅰ】 ⇒アパレルの分類と婦人服・紳士服・ベビー服の基礎知識を身につける。						
13	【ファッション商品知識Ⅱ】 ⇒アイテム・素材の知識を深める。						
14	【ファッション商品知識Ⅲ】 ⇒色彩・サイズ・品質表示についての知識を身につける。						5
15	【期末テスト】 ⇒試験内容：検定内容に基づいた筆記試験。						60
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	フェイシャル演習Ⅱ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤
授業 形態			実習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	月曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AEA及びAJESTHE認定講師の資格を持ち、登録試験官として専門学校、また、一般受験の資格試験に携わっています。AEA上級認定エステティシャン、AJESTHE上級認定エステティシャンの実技試験、コンサルテーションにおける、知識やアドバイスを強化しを合格に導いていきます。 目的:資格試験合格のためのポイントを学ぶ 概要:各試験項目を時間内に対応でき、また各授業内で不足している知識や技術を見直ししていく。							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャンフェイシャル実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA教科書・AJESTHE教科書							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	AEA上級認定実技試験内容について、AEA認級認定フェイシャル実技対策						
2	AEA上級認定フェイシャル実技対策						小テスト 4点
3	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問含む)						
4	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問含む)						小テスト 4点
5	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問含む)						
6	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問含む)						
7	中間テスト						中間テスト 20点
8	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問・ホームケア含む)						
9	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問・ホームケア含む)						小テスト 4点
10	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問・ホームケア含む)						
11	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問・ホームケア含む)						小テスト 4点
12	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問・ホームケア含む)						
13	AEA上級認定フェイシャル実技対策(口頭試問・ホームケア含む)						小テスト 4点
14	AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験について、AJESTHE上級認定実技対策						
15	定期試験						定期試験 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	サロン演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	名尾
学科・コース	トータルビューティー科 エステコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日(1・2限)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロのエステティシャンとしての所作、振る舞いを学ぶ。各種テクニックを理解し技術の習得を目指す。 (※エステティシャンであり、店長として経営者として、お店を管理してきた講師、エステティシャンとして長年経験し現在も多くのお客様方のケアをしている講師による授業である)							
【授業を通じての到達目標】							
各トリートメント内容(目的・効果)を理解し接客を想定し説明、トリートメントをできるように実施する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	サロンマネジメント・エステティック関連法規						
2	パーツケア(リフレ・ハンド・ヘッドetc)					小テスト4点	
3	パーツケア(リフレ・ハンド・ヘッドetc)						
4	サロンについて(店名・コンセプト・メニュー決め・役職 等)					小テスト4点	
5	サロンオープンに向けての準備・技術練習						
6	サロンオープンに向けての準備・技術練習						
7	サロンオープンに向けての準備・技術練習(技術チェック)					中間試験20点	
8	サロンオープン予定						
9	サロンオープン予定					小テスト4点	
10	サロンオープン予定						
11	サロンオープン予定					小テスト4点	
12	フェイシャルコース(お悩みに合わせたメニュー)						
13	フェイシャルコース(お悩みに合わせたメニュー)					小テスト4点	
14	フェイシャルコース(お悩みに合わせたメニュー)						
15	定期試験					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	資格対策実技	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	名尾
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AEA及びAJESTHE認定講師の資格を持ち、登録試験官として専門学校、また、一般受験の資格試験に携わっています。AEA上級認定エステティシャン、AJESTHE上級認定エステティシャンの実技試験のワックス技術科目、その他コンサルテーションにおける、知識やアドバイスを強化しを合格に導いていきます。 目的: 資格試験合格のためのポイントを学ぶ 概要: 各試験項目を時間内に対応でき、また各授業内で不足している知識や技術を見直していく。							
【授業を通じての到達目標】							
AJESTHE上級認定エステティシャンWAX脱毛実技試験合格、AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャンフェイシャル実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA教科書・AJESTHE教科書							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ワックス脱毛について (理論・準備物)						
2	ワックス脱毛(理論・実践)						小テスト 4点
3	ワックス脱毛(理論・実践)						
4	ワックス脱毛						小テスト 4点
5	ワックス脱毛						
6	ワックス脱毛						
7	中間テスト ワックス脱毛						中間テスト 20点
8	実技試験対策 実技(フェイシャル機器 イオン導入)						
9	実技試験対策 実技(フェイシャル機器 パター)						小テスト 4点
10	実技試験対策 コンサルテーション～実技(フェイシャル) ※AEAコンサル対策						
11	実技試験対策 コンサルテーション～実技(フェイシャル) ※AEAコンサル対策						小テスト 4点
12	実技試験対策 コンサルテーション～実技(フェイシャル) ※AEAコンサル対策						
13	実技試験対策 コンサルテーション～実技(フェイシャル) ※AEAコンサル対策						小テスト 4点
14	実技試験対策 コンサルテーション～実技(フェイシャル) ※AJESTHE上級対策						
15	定期試験						定期試験 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	ボディ演習Ⅱ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤
学科・コース		授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期
				曜日・時間	木曜日		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AJESTHE認定講師の認定指導講師の資格を持ち、登録試験官として専門学校試験に携わっています。皆さんが実技試験に合格するために必要な専門知識やサロン現場で使える実践を交えた内容でお伝えしていきます。 目的: AEA上級認定エステティシャン・AJESTHE上級認定エステティシャンの実技試験に合格出来る為に必要な知識を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定エステティシャン・AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
新エステティック学(実技篇)							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	AEA上級認定エステティシャン・AJESTHE上級認定エステティシャン試験練習について、ボディマッサージ復習						
2	コンサルテーションシート記入、ボディマッサージ 通し練習					小テスト4点	
3	コンサルテーションシート記入、ボディマッサージ 口頭試問について						
4	コンサルテーションシート記入、ボディマッサージ 口頭試問対策					小テスト4点	
5	コンサルテーションシート記入、ボディマッサージ 口頭試問について						
6							
7	中間試験(AEA上級認定エステティシャン模擬試験)					中間試験20点	
8	模擬試験振り返り、苦手箇所練習						
9	AJESTHE上級認定エステティシャン試験について、コンサルテーションシート内容説明、採寸、機器3種について					小テスト4点	
10	ボディ機器(G5)説明・練習						
11	ボディ機器(G5)練習					小テスト4点	
12	ボディ機器(サクシオン)説明・練習						
13	ボディ機器(サクシオン)練習					小テスト4点	
14	ボディ機器(G5・サクシオン)復習						
15	定期試験					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出 席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	エステティック理論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	筆記	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース						曜日・時間	金曜日・4限
<p>【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>AEA及びAJESTHE認定講師の資格を持ち、筆記試験に合格できるポイントを指導していきます。筆記問題集の内容を理解できるよう解説していきます。 目的:筆記試験に合格できる必要な知識を学ぶ 概要:理論を項目ごとに解説し不足している知識を強化していく。</p>							
<p>【授業を通じての到達目標】</p> <p>AEA上級認定エステティシャン筆記試験の合格</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA問題集、AEA教科書							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	AEA筆記試験について、1-1エステティック概論、1-2 東洋西洋セラピー						
2	2 皮膚科学(1~81)						小テスト 4点
3	2 皮膚科学(82~149)						
4	3-1 解剖生理学(1~69)						小テスト 4点
5	3-1 解剖生理学(70~129)						
6	3-2 心身生理学						
7	中間テスト 4-1 ボディ実技理論						中間テスト 20点
8	4-2 運動生理学、5-1 フェイシャル実技理論						
9	5-2 化粧品学						小テスト 4点
10	6 栄養学						
11	7-1 エステティックカウンセリング、7-2 エステティック電気学機器学						小テスト 4点
12	8-1 サロンマネージメント、8-2 エステティック関連法規						
13	9-1サロンでの救急法、						小テスト 4点
14	10 美容脱毛学、復習						
15	定期試験						定期試験 60点
【特記事項】				<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (実)	ジェルネイル演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	橋本
		授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティー科 ネイルコース						水曜日
【学習の目的】(※業務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートを修得する サロンワークに必要なスピーディーな施術を修得する ジェルネイル技能検定試験中級でサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術身に付ける ミックスデザイン(コンテスト)を通して様々なアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し身に付ける							
【授業を通しての到達目標】							
お客様に提供できるアートが作成できる サロンワークに必要なスピーディーな施術を修得する ジェルアートは再現性高(繊細)に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる コンテスト制作を通して、様々なデザインの模範から独自のデザインを生み出すことができる ジェルネイル中級検定試験を通して イクステンションではフィンガを少なくできる5アプリアクションができる グラデーションは既定のバランスで仕上げられる カラーフレンチはラインが鮮明でつまみトップエンドが尖り、バランス良く仕上げることができる ジェルネイル上級検定試験を通して ジェルチップオーバーレイデザインの手順を覚え、実施することができる フレンチワークを模範し、規定の形に形成することができる フィンガを少なくできる5アプリアクションができる アートを繊細に仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授業概要						テスト配点
1	3D(3次元) 目標：ミックスアートの取っ手模範によって修得する バランスを覚え模範に作成することができる						
2	ジェルアート② ペーパー ワンカラー ラメグラ(メタリック) (オーロラ) ストーンアート ハーフフレンチ バルーンフレンチ マーブル① マーブル② 逆フレンチ+ラメライン フレンチ+ラメライン マーブル 大理石 タイダイ 縦グラデーション カーグラデーション(ピンク・ベージュ) ホワイトグラデーション(ベースカラー：ベージュ(ヘビーブーマー)) 【到達目標】 アートを繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる						
3	コンテストデザイン考案 ミックスデザインアート (デザイン 色塗り) 目標：実行のある模範目次大層なアートを描くことができる						
4	ジェル中級 右手中指ジェルイクステンション 左手ジェルフレンチカラーリング 要項説明①・過去問題確認						
5	ジェル中級 タイピング スライド 要項説明②						
6	ジェル中級③ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ●右手中指ジェルイクステンション ●右手4本ジェルグラデーション ●左手ジェルフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはつまみラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中であり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、模範に何分指かきか把握する						
7	ジェル中級④ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ●右手中指ジェルイクステンション ●右手4本ジェルグラデーション ●左手ジェルフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはつまみラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中であり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、模範に何分指かきか把握する						
8	ジェル中級⑤ 小テスト20点 ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ●右手中指ジェルイクステンション ●右手4本ジェルグラデーション ●左手ジェルフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはつまみラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中であり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、模範に何分指かきか把握する						小テスト20点
9	中間テスト ジェルネイル技能検定試験中級 タイムトライアル 第一課題30分(相モデル) ※モデル同伴可能 もしも相モデル ※2級合格者は免除 第二課題90分(トレーニングハンド) 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはつまみラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中であり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、模範に何分指かきか把握する						中間テスト20点
10	コンテスト制作作成⑤ 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目次大層なアートを描くことができる						
11	コンテスト制作作成⑥ 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目次大層なアートを描くことができる						
12	コンテスト制作作成⑦ 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目次大層なアートを描くことができる						
13	コンテスト制作作成⑧ 様々な技法を取り入れ、実行のある模範目次大層なアートを描くことができる						
14	ジェル上級 TO TO&フラー ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ジェルチップオーバーレイ&フラー 右手薬指 目標：フレンチワークを模範し、規定の形に形成することができる フィンガを少なくできる5アプリアクションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける フレンチワークを模範し、グラデーションカラーを実行でき模範に描ける						
15	定期試験60点 ラメグラ(メタリック) ハーフフレンチ バルーンフレンチ マーブル① マーブル② フレンチ タイダイ 縦グラデーション カーグラデーション(ピンク・ベージュ) ホワイトグラデーション(ベースカラー：ベージュ(ヘビーブーマー)) 【到達目標】 アートを繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる ジェルアートは再現性高(繊細)に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる						定期試験60点
【特記事項】 ■ネイルスト技能検定試験1級 試験日：4月13日(土) 10月19日(土) (C/Pターン) ■ジェル検定上級 試験日：11月予定				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点) / B評価(80~89点) / C評価(70~79点) / D評価(60~69点) / E評価(50~59点) / F評価(40~49点) / G評価(30~39点) / H評価(20~29点) / I評価(10~19点) / J評価(0~9点) 不合格 ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル検定実習Ⅱ		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	戸川智尋
	授業 形態	実技	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 昼日・特修	前期		
学科コード	トータルビューティ科 ネイルコース							火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、見習する教員が、どのような授業を実施するか、具体的に記載する)								
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートを修得する サロンワークに必要なスピードラーニング技術を修得する サロンワーク実践できる技術、知識、プロフェッショナル、ホスピタリティを身に付ける 就職に向けてサロンワークのルーティーンを身に付ける コズメティックアート(コネクト)を通して様々なアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ジェルネイル技術検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を期限内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技術検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を修得し身に付ける 科目： ネイル教育に2年以上携わってきました。 現在はネイル専門学校でも講師をしています。 講師経験を活かし様々な悩みを解決しやすくなります。 ジェルネイル検定試験実習Ⅱ、JNAジェルネイル検定試験実習Ⅲを履修し、合格も兼ねる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えし合格へのお手伝いをいたします。 各種ジェルメーカーのエンジニアを現場ではプロにもおなじみのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオ撮影等様々な仕事に携わらせていただきました。 この経験を活かし、将来あなたがネイルとして働く際に役立つ技術をお伝えします。								
【授業を通じての到達目標】								
接客用語、ジェルの説明を習得し、サロンワークで活用できる お客様に満足できるアートが作成できる 表面にはみず、繊細に、表面に凹凸がなく、時間内で納品ができる コネクトのチップ作成では様々なデザインの模倣から独自のデザインを生み出すことができる ジェルネイル中級検定試験を通して イクステーションではフリンジを少なくできるようなアプリケーションができる グレースは既定のバンスで仕上げ カーブフレンチはラインが鮮明でムラなく(ツブエント)が突り、バンス良く仕上げることができる ジェル上級では ジェルチップオーバーレイ(デザイン)の手順を覚え、実施することができる サロンワークを模倣し、規定の形に形成することができる フリンジを少なくできるようなアプリケーションができる アートを繊細に仕上げることができる ジェルのイクステーションの手順を修得し、実施することができる フリンジを少なくできるようなアプリケーションができる ムラなく仕上げることができる、作業が速くなるようになる								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス								
回	授業概要						テスト配点	
1	検定対策1,2級							
2	ジェルアート① 白グレースーション(スライド)×ページ(ハイビーム) フレンチ 【到達目標】 白グレースーションはムラなく、フレンチは鮮明でバンスよく揃い、就職の技術チェックに備える							
3	ジェルアート② サロンアート ペーパー ワンカラー リフトアップ(メッシュ) (オーロ) ストーンアート ハーフフレンチ バルーンフレンチ マニキュア④ マニキュア⑤ 逆フレンチ+リフトアップ フレンチ+リフトアップ マニキュア 大塚石 タイダイ 縦グラデーション カラーグラデーション(ピンクベージュ) ネイルアート③ シェルベージュ(ハイビーム) ページ(ハイビーム) 【到達目標】 アートを繊細に仕上げることができる、サロンワーク高い技術を習得できるよくなる							
4	コネクトチップ作成① 実行する際の繊細なアートを描くことができる							
5	コネクトチップ作成② 実行する際の繊細なアートを描くことができる							
6	交流会 30分 アートを繊細に仕上げることができる、サロンワークで高い技術を習得できるよくなる ジェルアートは繊細に、お客様にご提供できるレベルに達する							
7	交流会 30分 接客用語 相模模倣 【到達目標】 接客用語を使用し、会話しながら時間内に実施することができる							
8	コネクトチップ作成③ 実行する際の繊細なアートを描くことができる							
9	小テスト20点 ジェル検定中級⑥ 第一課題30分(相模模倣) ※モジュール同様可能 本人は相模模倣 ※2級合格者は免除 第二課題35分(トレーニングハンド) ●右手中級ジェルイクステーション ●右手4本ジェルイクステーション ●左手ジェルイクステーションカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でツブエントが突り左右対称である イクステーションはハイポイントが真ん中になり、厚みが均等でラウンドになっている 合格ラインで時間内に実施することができる						小テスト20点	
10	中間テスト ジェルネイル技術検定試験 中級 第一課題30分(相模模倣) ※モジュール同様可能 本人は相模模倣 ※2級合格者は免除 第二課題35分(トレーニングハンド) ●右手中級ジェルイクステーション ●右手4本ジェルイクステーション ●左手ジェルイクステーションカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でツブエントが突り左右対称である イクステーションはハイポイントが真ん中になり、厚みが均等でラウンドになっている 合格ラインで時間内に実施することができる						中間テスト20点	
11	ジェル相模模倣① サロンワーク練習 接客用語を活用して練習90分 オブ30分 【到達目標】 接客用語を使用し、お見送りまで時間内に実施することができる							
12	ジェル相模模倣② サロンワーク練習 接客用語を活用して練習90分 オブ30分 【到達目標】 接客用語を使用し、お見送りまで時間内に実施することができる							
13	ジェル相模模倣③ サロンワーク練習 接客用語を活用して練習90分 オブ30分 【到達目標】 接客用語を使用し、お見送りまで時間内に実施することができる							
14	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ●ジェルチップオーバーレイ 左手中級 ●ジェルチップオーバーレイとリフトアップ 左手中級 ●ジェルチップオーバーレイとリフトアップ フレンチ+リフトアップ 右手中級 ●ジェルグレースーション 右手人差し指・中指 目標：フリンジを少なくできるようなアプリケーションができる フリンジを少なくできるようなアプリケーションができる ジェルネイル検定試験実習Ⅱ、実習Ⅲに備える フリンジを少なくできるようなアプリケーションができる フリンジを少なくできるようなアプリケーションができる							
15	定期試験60点 ジェル相模模倣 サロンワーク練習 接客用語を活用して練習90分 オブ30分 【到達目標】 接客用語を使用し、お見送りまで時間内に実施することができる						定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】				
●ネイル技術検定試験1級 試験日：4月13日(土) 10月19日(土)(c/ターン)				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点) / B評価(80~89点) / C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」にあり、点数化し評価する。				

